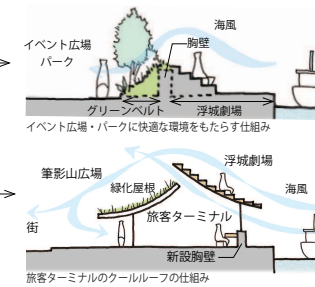


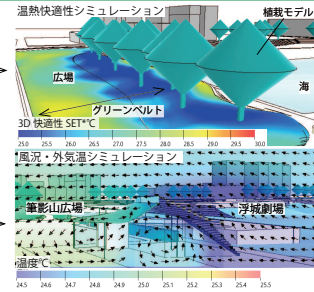
テーマ②：港を訪れた誰もが港内の回遊ができ快適に安心して過ごせる施設づくり  
人と街を守りながら、街と海をつなぐ架け橋となる港の拠点

街と海を分断する胸壁を段状に解きほぐし、海側は石の劇場、街側はグリーンベルトとして溶かしこむことで、街を守るという胸壁の役割は保ちつつ、街と海をなだらかにつなぎます。またこれは、冷涼な海風を遮ることなく街へと促す。環境装置としても機能します。

なだらかな段状に作り替えられたグリーンベルトと、海風を促しながら木陰をつくる高木が組み合わさって、その街側には周囲より体感で3〜8℃ほど低いクールスポットが広がり、居心地の良い広場となります。



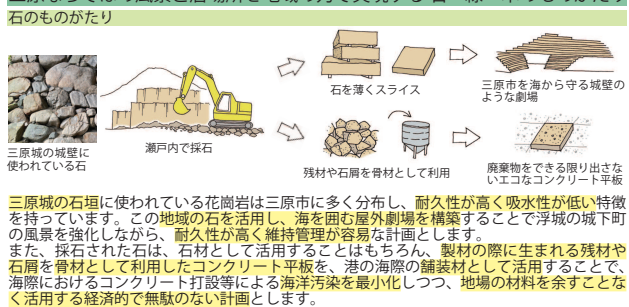
旅客ターミナルでは、港の水面を通じ冷却された風は、南面の窓から導入され北面のハイサイドライトへと通じる安定した自然換気を生み出します。上空を通れる海風は、切妻型の緑化屋根に沿うようにして流れ、建物背面に広がる筆影山広場へと涼しい空気を届け、建物のZtB Ready実現にも屋外環境にも貢献するクールーフです。



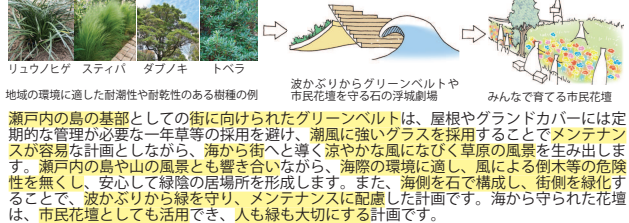
海からの風と植栽により、周囲より3〜8℃ほど低いクールスポットが生み出されています。

風向きを表す矢印が、筆影山広場に面する軒下空間まで風を運んでいることがわかります。

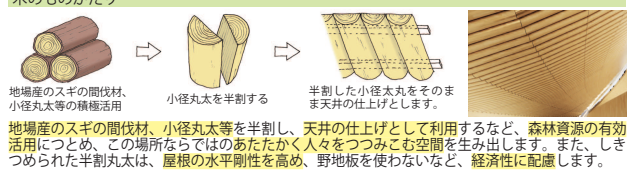
テーマ③：魅力的でありかつ合理的で実現性の高い施設づくり  
三原ならではの風景と居場所を地域の実力で実現する石・緑・木のものがたり



三原城の石垣に使われていた花崗岩は三原市に多く分布し、耐久性が高く吸水性が低い特徴を持っています。この地域の石を活用し、海を囲む屋外劇場を構築することで浮城の町町の風景を強化しながら、耐久性が高く維持管理が容易な計画とします。

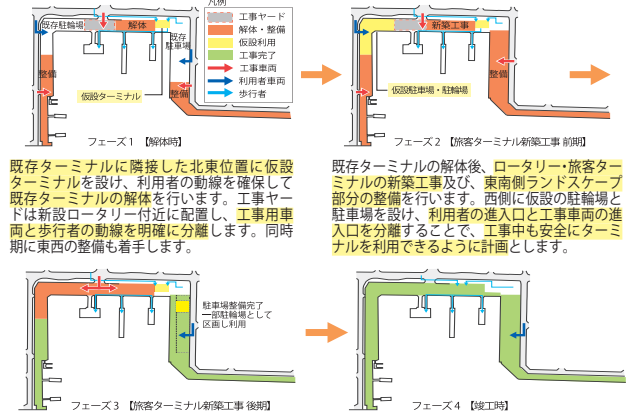


瀬戸内の島の基部としての街に向けられたグリーンベルトは、屋根やランドカバーには定期的な管理が必要な一年草等の採用を避け、潮風に強いグラスを採用することでメンテナンスが容易な計画としながら、海から街へと導く涼やかな風になじく草原の風景を生み出します。瀬戸内の島や山の風景とも響き合いながら、海際の環境に適し、風による倒木等の危険性を無くし、安心して緑地の居場所を形成します。また、海側を石で構成し、街側を緑化することで、波かぶりから緑を守り、メンテナンスに配慮した計画です。海から守られた花壇は、市民花壇としても活用でき、人も緑も大切に作る計画です。



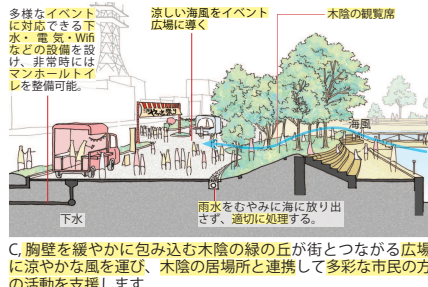
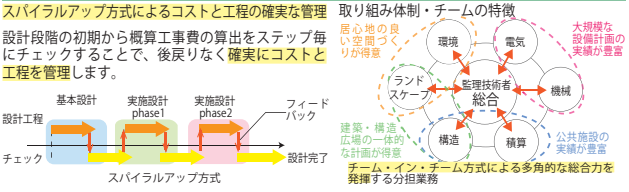
地場産のスキの間伐材、小径丸太等を半割し、天井の仕上げとして利用するなど、森林資源の有効活用につとめ、この場所ならではのあたたかみをつまこむ空間を生み出します。また、しきつめられた半割丸太は、屋根の水平剛性を高め、野地板を使わないなど、経済性に配慮します。

テーマ③：魅力的でありかつ合理的で実現性の高い施設づくり  
フェリーターミナルの機能を守りながら、安全・安心な工事ステップ工程

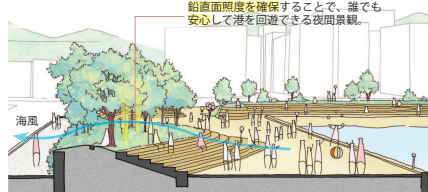


既存ターミナルに隣接した北東位置に仮設ターミナルを設け、利用者の動線を確保して既存ターミナルの解体を行います。工事ヤードは新設ロータリー付近に配置し、工事用車両と歩行者の動線を明確に分離します。同時期に東西の整備も着手します。

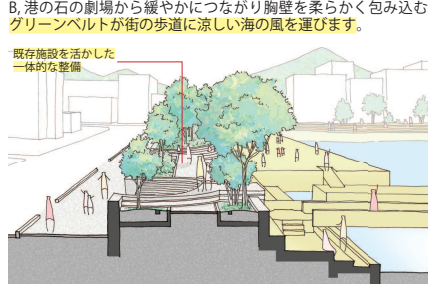
新設ターミナル工事竣工後に仮設ターミナルを速やかに解体することで、既存施設の解体期間と旅客ターミナルの工期内に、安全に港全体の工事を完了できる計画とします。



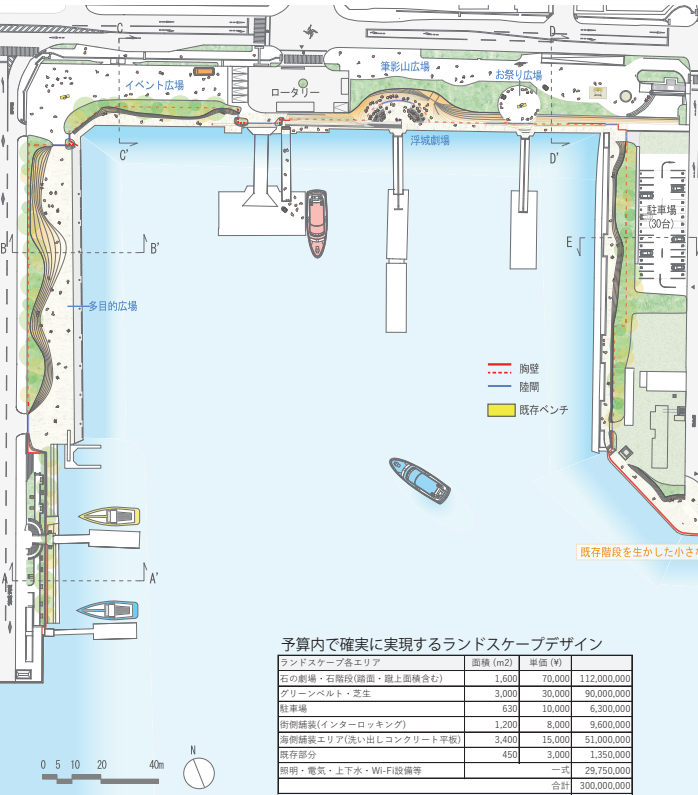
C, 胸壁を緩やかに包み込む木陰の丘が街とつながる広場に涼やかな風を運び、木陰の居場所と連携して多彩な市民の方の活動を支援します。



B, 港の石の劇場から緩やかにつながり胸壁を柔らかく包み込むグリーンベルトが街の歩道に涼しい海風を運びます。



A, 存知施設に緑の木陰と海際の石舗装を施すことにより、港の一体的な整備を実現します。



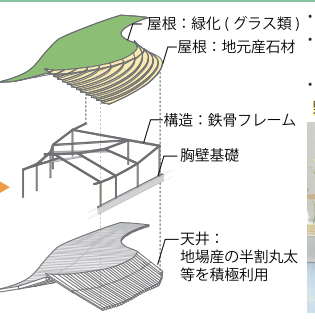
予算内で確実に実現するランドスケープデザイン

ランドスケープ各エリア	面積 (m2)	単価 (円)	112,000,000
石の劇場・石階段(断面・壁上面積含む)	1,600	70,000	112,000,000
グリーンベルト・芝生	3,000	30,000	90,000,000
駐車場	630	10,000	6,300,000
街側緑地(インターロッキング)	1,200	8,000	9,600,000
海側緑地(洗い出しコンクリート平板)	3,400	15,000	51,000,000
既存部分	450	3,000	1,350,000
照明・電気・上下水・Wi-Fi設備等			29,750,000
合計			300,000,000

※概算表

テーマ③：魅力的でありかつ合理的で実現性の高い施設づくり  
港の安全を守る堅牢かつ合理的で、高潮・津波・洪水に配慮した構造

胸壁を柱脚として生かし、屋根と街側の柱脚をピン接合とする胸壁基礎2ヒンジフレームにより、堅牢かつ施工性を高めた合理的な計画です。



港周辺に連続する胸壁と一体となり、高潮や津波から、ターミナル内及び街を守る構造とします。  
人工護岸に土圧を与えない既存杭基礎を備えた鉄骨造とすることで、護岸の補強等のない合理的な計画とし、現場でのコンクリート施工を最小化する海洋汚染に配慮した海にやさしい構造計画とします。  
地場産の間伐材等の小径丸太を敷き並べて天井仕上げ材に活用するなど、水平剛性の安全性を高めるとともに、野地板を不要とした合理的な計画とします。

